

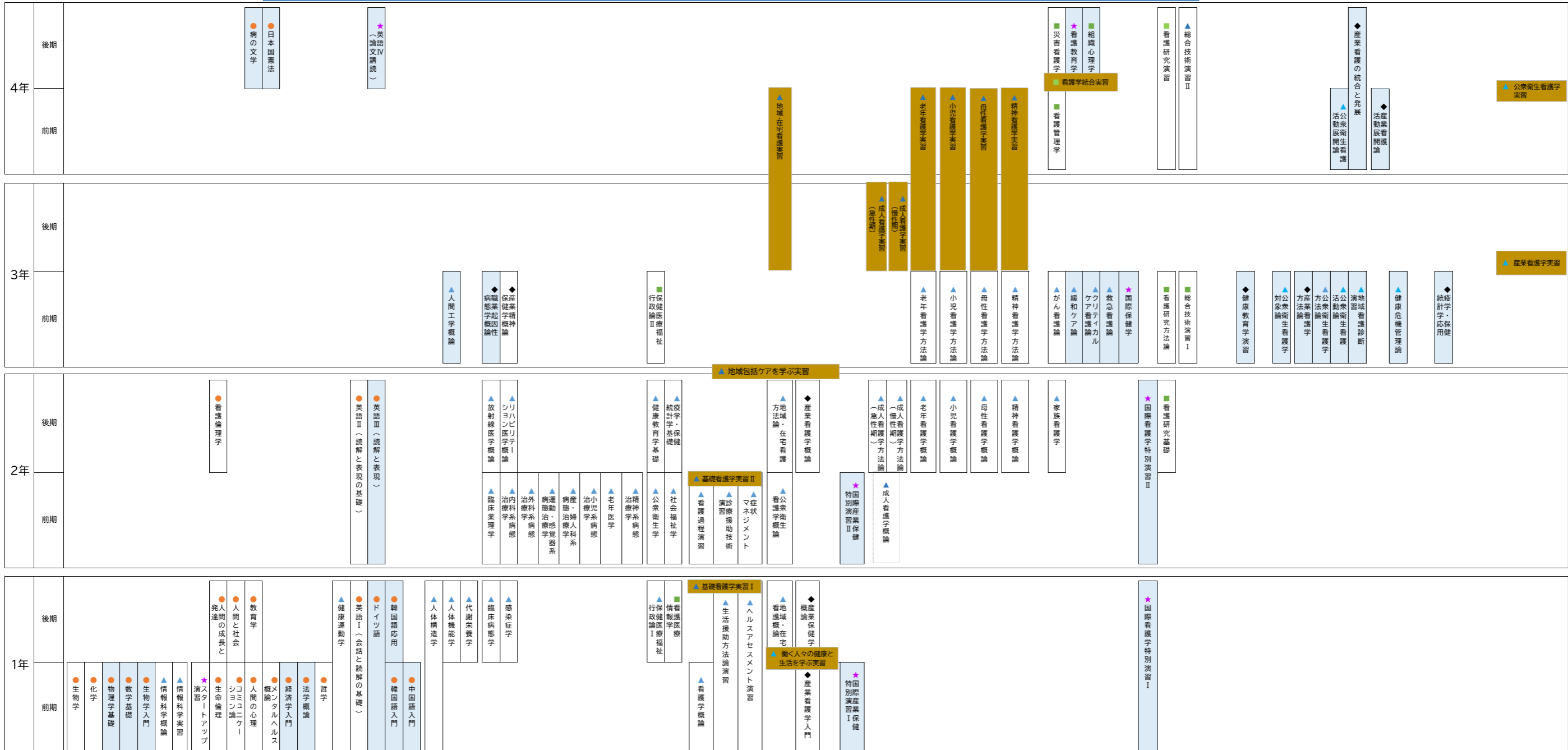
# 産業保健学部看護学科カリキュラム・マップ

目的 看護専門職の基盤となる知識、技術、態度を身につけるとともに、産業看護職の役割を認識し、社会の変化や科学技術の発展に対応できる柔軟な思考力を備える。

## 看護学科ディプロマ・ポリシー

- DP1 人間性・倫理観・・・生命の尊厳を重んじ人々の権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観ならびに深い教養と洞察力を身につけ、物事の本質を探究することができる。
- ▲ DP2 専門的知識・技能・・・多様な場における人々の健康課題を捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- DP3 看護実践力・批判的思考力・問題解決能力・・・社会の変化を予測して創造的に看護を実践し、看護の質を管理、改善することができる。
- ◆ DP4 産業看護・コミュニケーション能力・・・人々の健康を働くこととの関連から多角的に捉え、様々な職種と協働し問題解決に向けて活動することができる。
- ★ DP5 国際貢献・自己啓発力・・・グローバルな視点から人々の健康を捉え、また主体性ある看護職者として自己啓発し続けることができる。

- 実習
- 必修
- 選択



区分	科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	基礎看護学	地域・在宅看護学	産業看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践	公衆衛生看護学	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護学活動展開論	公衆衛生看護学管理論	疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	個人・家族・集団・組織の支援能力	公衆衛生看護学活動展開論	公衆衛生看護学管理論
	基礎分野		専門基礎分野			専門分野					保健学専門分野													